

三鷹市障がい者自立支援協議会（令和5年度第2回）議事要旨

日時：令和5年6月30日（金）18時30分～20時30分

場所：教育センター3階 大研修室・オンライン

出席委員：片桐朝美、大木幸子、岡田敏弘、新津健朗、堀洋一郎、福原理絵、高橋みゆき、
中野弘子、土屋秀雄、吉田純子、大野通子、中野昭精、瀧澤勤、加藤亮一、豊田未知、
海老原恵理子、鶴田明子、工藤勇太、上野たか子、高橋久実子、春日里江

事務局：立仙障がい者支援課長、荻野障がい者相談支援担当課長、竹内介護保険課長、
高橋子ども発達支援課長、他 15名

傍聴者：なし

（順不同、敬称略）

<配布資料>

- ・席次表・・・・・・・・・・・・・・・・（資料1）
- ・委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・（資料2）
- ・避難行動要支援者支援事業について・・・・・・・・（資料3）
- ・個別避難計画作成に向けた案内について・・・・・・・・（資料4）
- ・専門部会について・・・・・・・・・・・・・・・・（資料5）
- ・令和5年度計画策定の予定・・・・・・・・・・・・・・・・（資料6-1）
- ・国の動向について・・・・・・・・・・・・・・・・（資料6-2）
- ・第二期三鷹市障がい者（児）計画進捗状況・・・・・・・・（資料6-3）
- ・障害福祉サービスの利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・（資料6-4）
- ・実態調査結果の報告について・・・・・・・・・・・・・・・・（資料6-5）
- ・グループワークの流れ・・・・・・・・・・・・・・・・（資料6-6）
- ・第2回タイムスケジュール（予定）
- ・意見シート

<持参資料>

- ・第二期三鷹市障がい者（児）計画
- ・令和4年度三鷹市障がい者等の生活と福祉実態調査報告書（概要版）
- ・令和4年度三鷹市障がい者等の生活と福祉実態調査報告書

1 報告事項

- 健康福祉部地域福祉課地域ケア係
（資料3）～（資料4）を用いて避難行動要支援者支援事業及び、個別避難計画作成について報告。
- 事務局
6月27日（火）に実施した、調布基地跡地福祉施設に係る住民説明会等について報告。

- 会長
報告事項について質問等あるか。
無いようなので、次第2に進む。

2 専門部会について

- 事務局
(資料5)を用いて専門部会について説明。
- 会長
専門部会について質問等あるか。無いようなので、次第にはないが、本日欠席している A 委員からご意見を頂いたので、B 委員より説明をお願いしたい。
- B 委員
資料で配布したが、委員の皆様と事務局宛に A 委員から意見を預かったので確認していただきたい。
また、音声データも預かっているので皆様に聞いていただきたい。
(A 委員音声データ：
「当事者の声を受け止めてほしい。そして、当事者が主体的に地域活動の一環として参加できる環境を作ってほしい。資料の配布、会議の進行、意見聴取、意見への回答・反映までのプロセスを明確にしていきたい。「実施した」ことよりも、「実施してどのように改善されたか」といった情報が欲しい。
今期の自立支援協議会では計画策定の話になると思うが、当事者にとって計画が「実行」され、「改善」されたと目に見えて実感できるものにしてほしい。）」
- B 委員
A 委員からは、提出した意見に対し、「YES」か「NO」のような回答ではなく、その回答に至った過程の説明がほしい、議事要旨の内容に関してもう少し中身を記載してほしいと意見を頂いた。
- 会長
資料の裏面に、障がい者支援課長宛にご意見を頂いているので、課長から一言お願いしたい。
- 障がい者支援課長
計画策定に向けて説明する中で、要望を頂いた部分も含まれていると思うが、不十分な部分もあると思うので、次回 8 月 31 日の会議でも説明できればと思う。
また、グループワーク等の機会を活用しながら、当事者や支援者の方達との「対話」を大切に、一緒に施策等考えていきたい。その中での進捗状況やプロセスなども丁寧に説明していきたいと思う。
- 副会長
前期に、A 委員から頂いた意見やご質問を自立支援協議会の中で十分に議論できなかった。当事者に向けた情報提供のあり方や、計画を作成するにあたっての評価などに対し、当事者目線での意見を多く頂いていたが、次の行動につなぎきれていなかった。
頂いた意見等をもとに、事務局と正副会長の中で専門部会等のあり方についての議論はし

だが、委員の皆様の意見を伺い、専門部会の構成に反映させるところまではできていない。時間の制約もあり、自立支援協議会のあり方を親会で議論できていないことも問題だと思う。今後、計画策定に関するだけでなく、具体的な行動を検討し、実施できる体制になっていくと良いと思う。

○ B 委員

第一回で頂いていた名簿よりも当事者の人数が減っているので説明が欲しい。
委員が見つからないのであれば、満期になってしまった委員を採用してはどうか。

○ 事務局

精神障がい者、知的障がい者については依頼をしているところだが、引き受けてくれる方が見つからない状況。

委員の満期についてだが、三鷹市市民会議等運営要領に「原則として、引き続き3任期又は10年のどちらか長い期間を超えるような選任は行わない。」との記載があるため、満期の委員を採用するのは難しい。

○ C 委員

任期について説明を頂きたい。

○ 事務局

三鷹市市民会議等運営要領に、「原則として、引き続き3任期又は10年のどちらか長い期間を超えるような選任は行わない。」との記載があり、三鷹市障がい者自立支援協議会については、一期が三年なので、だいたい三期が目安となっている。

3 計画策定について

○ 事務局

(資料6-1) を用いて令和5年度の計画策定について説明。

(資料6-2) を用いて国の動向について説明。

(資料6-3) を用いて第二期三鷹市障がい者(児)計画進捗状況について説明。

(資料6-4) を用いて障害福祉サービスの利用実績について説明。

(資料6-5) を用いて実態調査結果の報告について説明。

時間の制約があり全体での質疑は省略したい。この後のグループワークには市の職員も参加をするので、その際に聞いていただきたい。

○ D 委員

計画進捗状況についての資料について、当初、就労の部分は、市の職員と対話が出来ず、記載されている内容と現場での現状に差異が見られたため、差し替えをお願いした。

事務局から、計画進捗状況についての資料の内容や、空白部分等は会議の内容も踏まえて今後埋めていくとの説明があったので納得はできたが、事前に、資料をどのように会議で使用するのか、何を準備していけばよいかなどがわかるガイドがあると良い。

○ 会長

今回は、第三期障がい者(児)計画のビジョンや重点課題についてグループワークを行う。
事務局よりグループワークの説明をお願いする。

- 事務局
（資料6-6）を用いてグループワークの流れについて説明。
- 会長
グループワークを開始する。
（5つのグループに分かれて約45分間グループワークを行った。）
- 会長
グループワークで出た意見等を1グループから発表していただきたい。
- E委員【1グループ】
1グループでは、課題の発見という部分で8つの分野の課題を見つけた。
1つ目、「医療関係について」。2つ目「施設について」。3つ目「関係機関等の連携について」。4つ目、「サービスについて」。5つ目、「家庭について」。6つ目「社会について」。7つ目、「バリアフリーのハード面について」。8つ目、「心の問題について」。
今後3年間で特に力を入れたい重点課題については、時間が足りなかったため、社会について特に「教育」と、「バリアフリー」について話し合った。
「教育」に関しては、障がいの理解をしてほしい、理解をしてもらえれば居場所ができ、障がいを隠さず自分らしく生きていけると思う。「バリアフリー」については、ハード面の工夫をしてほしい。
- 副会長【2グループ】
2グループは、5つのキーワードが挙がった。
1つ目、「継続」。サービスの安定、継続、地域で生活を続けることの重要性。
2つ目、「多世代」。地域のネットワークの構築、推進が重要。三鷹市は、地域ケアネットワークという独自の事業を行っているので、今後も期待したい。
3つ目、「安全」。孤立化していかないような相談支援等の強化が必要。
4つ目、「情報」。障がい者が情報を得るうえで、困りごとが起こらない取り組みが必要。
5つ目、「制度上の問題」。制度上の問題で、同じ障害がある方でも受けられるサービスが変わってくることもある。今後は、分け隔てない福祉を目指すべきである。
- F委員【3グループ】
3グループの意見は、「人が少ない」ということに集約している。
一人一人が地域の人たちと関わりを持ち、問題が問題にならないような三鷹市を作り上げていくことが重要になってくるのでは。
また、広報等で啓発活動をしながらか地域の人に現状・情報を知ってもらうことも大切だ。
- G委員【4グループ】
4グループでは、「教育」の部分が最も大切との意見が出た。また、障がい者に適した住まいを提供していくことも重要。
3グループでも挙がったように、「人手不足」が、障がい福祉サービス事業所や行政共に深刻な問題になっていると思う。
- H委員【5グループ】
5グループは、4つの課題が挙がった。
1つ目、「福祉サービス」。通常の福祉サービスに載らないところで困っている方にどのよ

うに支援をしていくか。

2 つ目、「住居」。住まいで困っている方に対する支援。

3 つ目、「切れ目のない支援」。時期により支援者が変わっていく中で、障がい者の方が負担にならない支援していくことが大切。

4 つ目、「パートナーシップを前提とした施策の実現」。お互いが自然に手を差し伸べられる温か街にしていくのが大切。

- 会長
次第のその他に移る。発言のある人はいるか。
- F 委員
アール・ブリュットみたかの作品募集が 7 月の下旬に始まり、11 月下旬に開催する。
7 月 5 日・6 日に市役所で星風マートを開催する。市内の事業所が自主製品を販売する。
- B 委員
意見シートの情報はどのように公開され、取り扱われているのか確認したい。
- 事務局
前は 3 名の方からビジョンのご意見を頂いた。
また、専門部会については、頂いた意見をもとに（資料 5）の案を提示した。
- 副会長
意見シートについて、全委員に共有すれば良いのでは。
- 事務局
頂いた意見について共有していきたい。共有してほくない方はその旨、意見シートに記載して欲しい。
- 会長
意見等あれば、意見シートに記入し後日、事務局に提出をお願いしたい。
- 事務局
今回は、8 月 31 日（木）午後 6 時 30 分から、教育センター 3 階の大研修室で開催予定。